



TITLE:

FSERC News No.22

AUTHOR(S):

京都大学フィールド科学教育研究センター

CITATION:

京都大学フィールド科学教育研究センター. FSERC News No.22. FSERC News 2011, 22

ISSUE DATE:

2011-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/151778>

RIGHT:



編集・発行：京都大学フィールド科学教育研究センター
住所：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
TEL：075-753-6420 FAX：075-753-6451
URL：http://fserc.kyoto-u.ac.jp

2011年3月

目	次
ニュース 1	教育ノート 3
公開実習および施設利用案内 2	活動の記録 4
研究ノート・トピックス 3	フィールド散歩 4

ニュース

平成23年度公開実習のお知らせ

来年度にフィールド研が開講を予定している公開実習をご案内いたします。全国全ての大学・大学生を対象とし、受講生には修了証を発行いたします。応募方法等についてはポスター（次ページ）やホームページ等をご覧ください。

1. 公開森林実習（上賀茂試験地、芦生研究林）

実施期間：2011年9月5日（月）～7日（水）

対象学生：定員10名；農学・森林科学系の学部レベルの学生（主として2・3回生）

内 容：近畿地方中北部における里域から森林にわたる多様な自然や森林景観の特徴について基礎的知識を得ることを目的とし、上賀茂試験地では外国産樹種見本林やマツ属の成長量・二次林の植生変化に関する研究資料や標本データ、芦生研究林では暖温帯林と冷温帯林の移行帯の特徴を示す天然林内の木本植物や草本植物、ツキノワグマやニホンジカの生態や被害状況等の実地観察を行う。

2. 森里海連環学実習 A（芦生研究林、舞鶴水産実験所）

実施期間：2011年8月8日（月）～12日（金）

対象学生：定員10名；学部生、文系理系を問わない（京大生10名との合同実習）

内 容：京都府北部を流れる由良川において、芦生研究林内の源流から丹後海に注ぐ河口までの環境と生態調査を行い、森や都市などの陸域の構造が、河川の水質、動植物の組成と生態にどのように影響しているかを調べる。森林と里域の構造を観察、河川・河口域では水質分析と魚類、水生昆虫、エビ・カニ類、プランクトンなどの生物採集を行い、種類の同定や消化管内容物を観察し、森から海までの環境の変化と生態系のつながりを分析する。

3. 春期・秋期公開臨海実習（瀬戸臨海実験所）

実施期間：秋期公開臨海実習 夏休み期間中、春期公開臨海実習 春休み期間中

対象学生：定員10名；学部生、2回生以上

内 容：春期公開実習では、海産無脊椎動物の多様性を網羅的に学ぶ。磯生物、刺網混獲物、底生生物の幼生を含むプランクトン、小型底生生物（メイオバ

ントス）の採集と形態の詳細観察、進化系統関係の機能形態学的な考察などを行う。また、藻類の系統分類と進化について学習する。秋期公開実習では、採水・採泥と採集試料の分析、マクロベントス群集の解析、磯観察、海洋生物の初期発生の観察、プランクトンの生体観察などを行う。また、各教員が用意した様々なテーマから学生が一つを選び、先端的な海洋生物の自然史科学を学ぶ。さらに、学生が課題を設定する自由課題研究も行う。

4. 海洋生物科学技術論と実習（舞鶴水産実験所）

実施期間：Ⅰ；2011年8月19日（金）～25日（木）、Ⅱ；8月25日（木）～31日（水）

対象学生：定員5名；農学・水産学・生物環境学系学部生（京大生との合同実習）

内 容：水圏環境学、資源生態学、魚類学、藻類学、微生物学、海洋分子生物学、海洋生化学に関する総合的な海洋フィールド実習である。実習Ⅰでは、舞鶴湾内海洋観測、採水試料の分析と観測データ解析、砕波帯における仔稚魚生態調査、魚類の分類と解剖学実習、磯調査など行う。実習Ⅱでは、微細藻類観察と同定、底生生物（ベントス）生態調査とベントスの生理活性物質の抽出・活性測定、ベントス幼生の形態ならびに分子遺伝学的手法を用いた種同定などを行う。

公開実習参加募集に加えて、他大学の教育科目としての実習利用および他大学の卒業論文研究、修士論文研究、博士論文研究のための当センター施設利用を募集しています。利用可能な施設、機器、コンテンツ、時期、申し込み方法などについてはホームページをご覧ください。



由良川下流域での生物調査

京都大学フィールド科学教育研究センター 公開実習および施設利用案内

京都大学フィールド科学教育研究センターでは、平成23年度に全国の大学生が参加できる以下の公開実習を予定しています。また、他大学による当センター施設の実習・研究利用を募集しています。



実習の内容や施設の詳細は、<http://fserc.kyoto-u.ac.jp> をご覧ください。

1. 公開実習

芦生研究林 (〒601-0703 京都府南丹市美山町芦生)

1. 公開森林実習 (上賀茂試験地と共同実施)

実施期間：平成23年9月5日(月)～9月7日(水) 募集定員：10名
対象学生：農学・森林科学系の学部レベルの学生。主として2・3回生。

2. 森里海連環学実習A (舞鶴水産実験所と共同実施)

実習期間：平成23年8月8日(月)～8月12日(金) 募集定員：10名
対象学生：学部生、文系・理系を問わない。

上賀茂試験地 (〒603-8047 京都市北区上賀茂本山2)

1. 公開森林実習 (芦生研究林と共同実施)

実施期間：平成23年9月5日(月)～9月7日(水) 募集定員：10名
対象学生：農学・森林科学系の学部レベルの学生。主として2・3回生。

瀬戸臨海実験所 (〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459)

1. 秋期公開臨海実習

実習期間：夏休み期間中 募集定員：10名
対象学生：学部生、2回生以上。

2. 春期公開臨海実習

実習期間：春休み期間中 募集定員：10名
対象学生：学部生、2回生以上。

舞鶴水産実験所 (〒625-0086 京都府舞鶴市長浜無番地)

1. 森里海連環学実習A (芦生研究林と共同実施)

実習期間：平成23年8月8日(月)～8月12日(金) 募集定員：10名
対象学生：学部生、文系・理系を問わない。

2. 海洋生物科学技術論と実習Ⅰ、Ⅱ

実習期間：(Ⅰ) 平成23年8月19日(金)～8月25日(木)
(Ⅱ) 平成23年8月25日(木)～8月31日(水)
募集定員：各5名以内
対象学生：農学・水産学・生物環境学系の2・3回生。

2. 他大学による実習利用の募集

他大学による当センター施設の実習利用を募集しています。実習に利用可能な施設、機器、コンテンツ、時期、申し込み方法などについてはホームページをご覧ください。

3. 他大学生の卒業論文・修士論文・博士論文研究のための利用募集

他大学生の卒業論文研究、修士論文研究、博士論文研究のための当センター施設利用を募集しています。研究に利用可能な施設、機器、時期、申し込み方法などについてはホームページをご覧ください。

研究ノート・トピックス

平成22年度受賞者一覧

受賞者名	受賞論文等のタイトル	受賞内容	学会・大会及び部門
福西悠一・益田玲爾・山下 洋	初期生活史の異なるクサフグとトラフグにおける紫外線耐性の個体発生と種差	日本生態学会 第57回大会 優秀発表賞受賞	日本生態学会 第57回大会
久保田信	刺胞動物門ヒドロ虫綱の個体発生、分布、生態を含む生活史に関する研究	日本生物地理学会学会賞	日本生物地理学会
福島慶太郎・大槻あずさ ・河本晴恵・吉岡崇仁 ・徳地直子・今西亜友美 ・向 昌宏・谷尾陽一 ・白澤紘明	由良川流下過程に伴う溶存有機物および溶存鉄の濃度変化	最優秀ポスター賞	日本地球惑星科学連合 2010年大会 「陸域の生物地球化学」セッション
佐藤修一	—	第12回森林管理技術賞	平成22年度全国大学演習林協議会

教育ノート

フィールド研の実習風景

「魚類心理学入門」(益田玲爾准教授担当)講義は2010年4～6月の合計6回、実習は7月2～4日に実施されました。



農学部総合館の北にある空調不要の快適空間、木造建築 j Pod で行われる講義(4月14日)



舞鶴市小橋の漁協施設「ととのいえ」で着替えて、網を曳いたり、シュノーケリングにより魚を観察したりする。昼食もこちらで頂いた(7月3日)



海水浴場で桁(けた)網を曳くと、カレイやヒラメなどの稚魚が採集できる(7月3日)



西舞鶴にある京都府漁連の卸売市場でセリを見学し、その日とれた魚を見せてもらう(7月4日)

活動の記録（2010年12月～2011年1月）

シンポジウム・公開講座等

○第2回由良川地域連携講座(由良川フォーラム)『森・里・海の対話』

2010年12月4日(土)*

*日本財団助成

○東京オフィス「東京で学ぶ京大の知」シリーズ2を開催「生きものの多様な世界」(全4回のうちの前半2回)

2011年1月15日、29日

各施設における取り組み

○北海道研究林

しべちゃアドベンチャースクール(標茶町教育委員会、社会教育課事業の後援 1月22日～1月23日)

○和歌山研究林

ウッズサイエンス(和歌山県立有田中央高等学校清水分校との共催 12月7日、1月18日)

○徳山試験地

「みどりの案内人養成プロジェクト」特別講座(周南市「みどりの案内人養成プロジェクト」実行委員会と共催 12月12日)

○紀伊大島実験所

古座川プロジェクト(毎月)

古座川シンポジウム(紀伊大島実験所主催、古座川流域協議会共催、和歌山県漁協など後援 12月16日)

○瀬戸臨海実験所

日替わり解説ツアー・バックヤードツアー(12月25日～1月10日)

「水族館バックヤード体験」(12月4日)

○海域陸域統合管理学研究部門(日本財団助成)

海域陸域統合管理学セミナー(1月13日)

フィールド散歩

— 冬の各施設及びその周辺の様子をご紹介 —



ナラ枯れ被害木の炭焼き(上賀茂)



白浜に寒波で「凍死」熱帯魚が漂着(瀬戸)



構内脇を通る JR 釧網線線路上のタンチョウ
(北海道・標茶)



ツバキ園芸品種(北白川)



雪化粧(北白川)



土場で雪解けを待つ重機(和歌山)